　これから、中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事の概要について、説明します。

　こちらの図は西側上空より見た新施設のイメージ図となります。
　図の中ほどに屋上緑化がございますが、この緑化面積はサッカーコート１面分に相当します。

## 整備工事概要

■工事件名　中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事

■工事場所　東京都江東区海の森二丁目４番７９号

■工　　期　令和　５年９月２７日から
令和１０年１月３１日まで

■施 工 者　極東開発・東急・岩田地崎
特定建設工事共同企業体

■契約金額　４５２億４３００万円（税込）

2

次に整備工事概要です。

工事件名・工事場所は記載のとおりです。
工期は令和５年９月27日から令和10年１月31日までとなります。
施工者は極東開発・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体です。
契約金額は、税込みで452億4300万円です。

■解体工事
（１）プラント設備
　中防不燃ごみ処理センター第一プラント

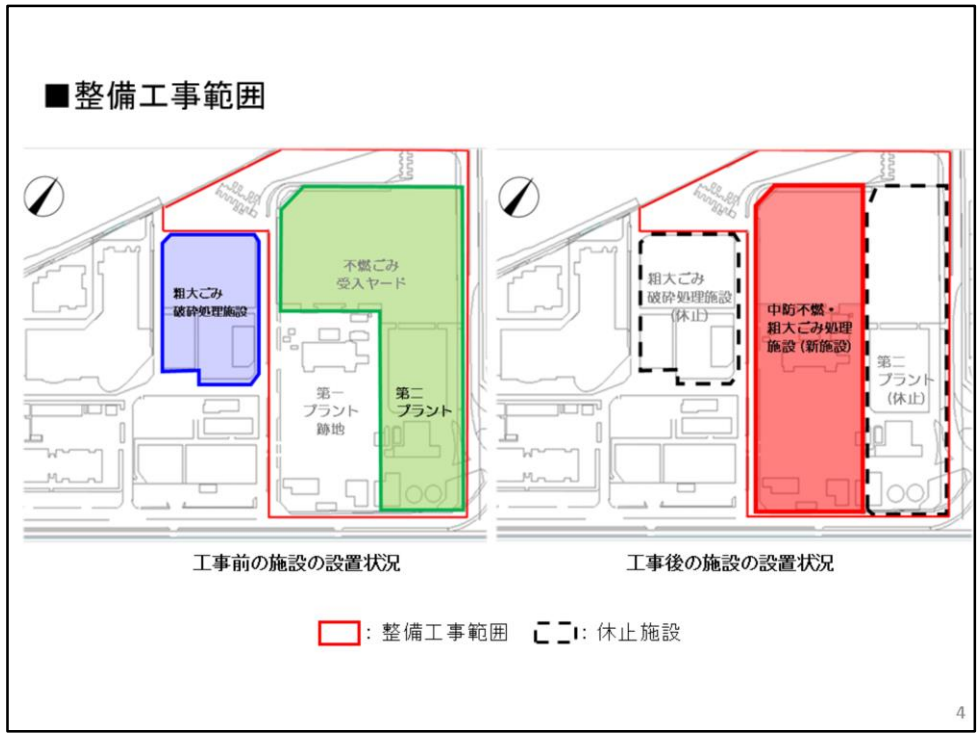
（２）建築物
　ア　受入貯留ヤード（第一プラント）
　イ　選別棟（第一プラント）
　ウ　付属棟（汚水処理施設、計量棟他）

■建設工事
（１）プラント設備
　処理能力 420トン／６時間（210トン/６時間×２系統）

（２）建築物
　ア　計量棟
　イ　受入貯留ヤード
　ウ　破砕処理棟
　エ　選別処理棟

3

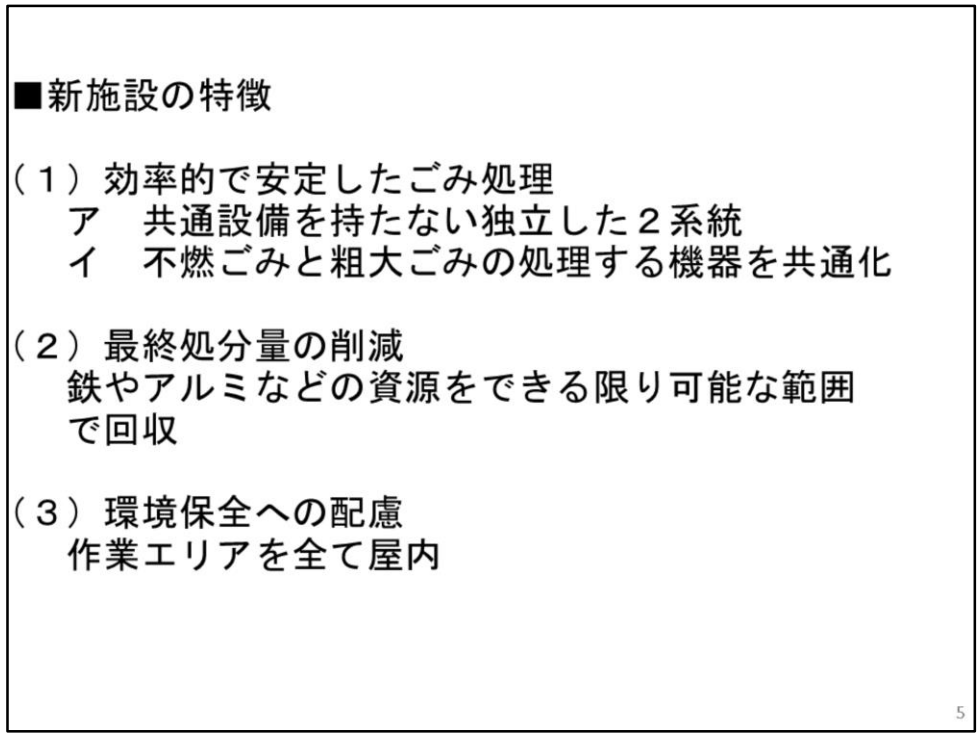
　続きまして、解体工事範囲は、プラント設備、建築物とも不燃ごみ処理センター第一プラント及び付属棟となります。
　建設工事においては、不燃ごみ、粗大ごみを420トン処理するプラント設備及び建築物を整備します。




次に、整備工事範囲について、工事前後の施設設置状況図を基に説明します。

図の左は現在稼働している施設の状況です。
青枠内は粗大ごみ破砕処理施設、緑枠内は中防不燃ごみ処理センター第二プラントです。
現在稼働している施設を操業させながら、真ん中に位置している第一プラント跡地の建築物・プラント設備、ヤードの左側部分を解体・撤去します。

図の右側は工事後の状況図です。
赤枠内に新施設である中防不燃・粗大ごみ処理施設を建設します。
なお、新施設しゅん工後は左右にある施設は休止し、災害発生時の処理に備える計画です。




次に、新施設の特徴を説明します。

まず、効率的で安定したごみ処理です。
共通設備を持たない独立した２系統とすることで、どちらか１系統が停止した場合でも、もう１系統だけで処理ができます。
また、不燃ごみと粗大ごみの処理時間帯を分け、処理する機器を共通化します。
こうすることで効率的で安定したごみ処理が可能となります。

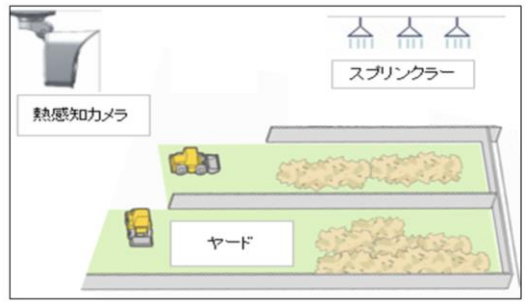
２点目に、最終処分量の削減です。
鉄やアルミなどの資源をできる限り可能な範囲で回収することで最終処分量を削減します。

３点目に、環境保全への配慮です。
作業エリアを全て屋内にすることで騒音や振動の低減、臭気対策などに配慮します。

■新施設の火災対策

（１）コンベヤ系統に散水装置
　ア　常時散水（予防措置）
　イ　センサー検知による消火散水

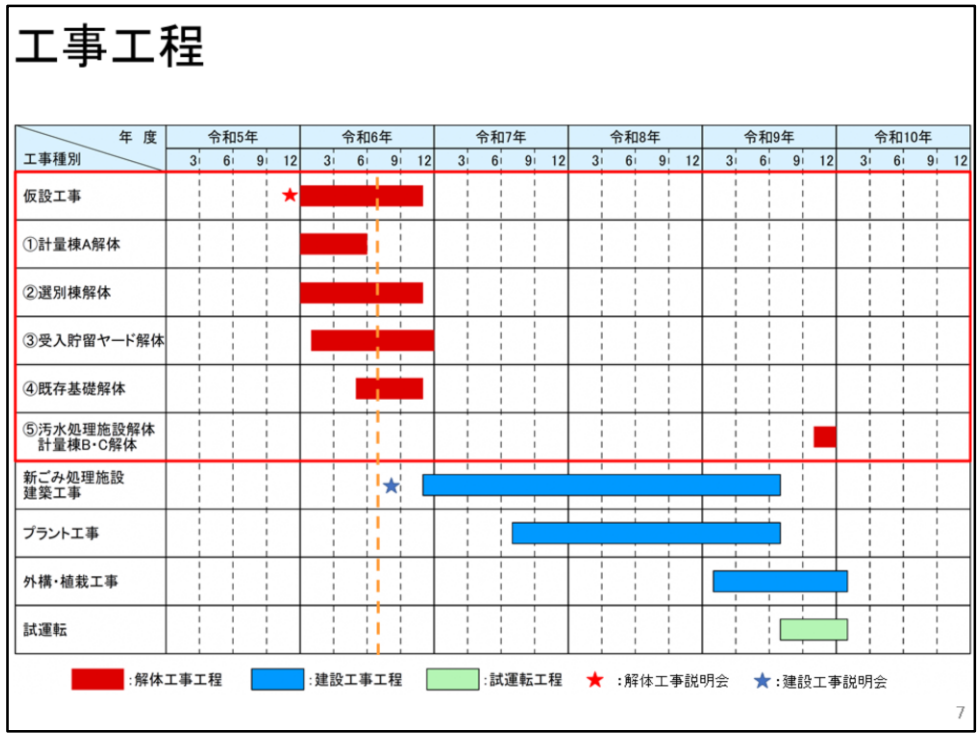
（２）熱感知カメラとスプリンクラー（新機能）




6

次に、新施設の火災対策について説明します。

コンベヤ系統に散水装置を設置するほか、ごみの受入ヤードには、新たな機能として熱感知カメラと連動するスプリンクラーを追加するなど、火災対策を強化してまいります。




次に工事工程を説明します。

赤色が解体工事、青色が建設工事、緑色が試運転工程となります。
現時点がオレンジの点線部です。
本年１月より解体工事に着手し、12月に完了を予定しています。
その後、新施設の建設工事を進めてまいります。
なお、中防処理施設が稼働しながらの工事のため、計量棟など一部は令和９年度に解体する予定です。

令和６年１月整備工事エリア撮影

続きまして、整備工事写真を紹介します。

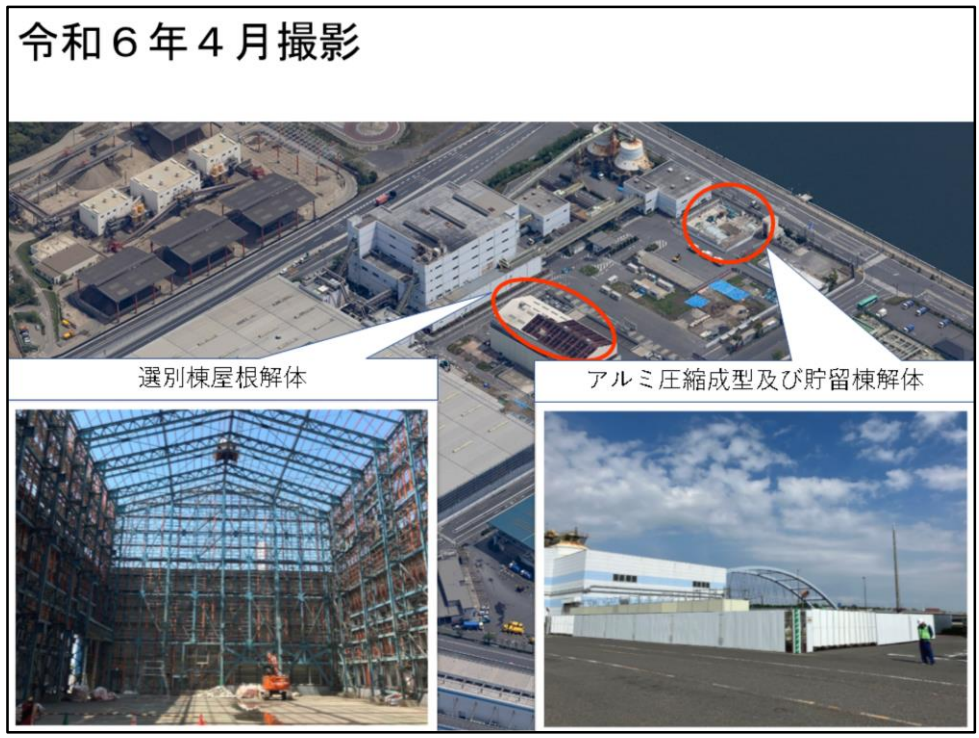
まず、整備工事エリア全景写真はイメージ図と同じく西側上空より撮影した航空写真です。
赤い点線で囲まれた範囲が整備工事エリアとなります。
工事内容につきましては毎月定点撮影した航空写真を基に説明します。

令和６年２月撮影です。

工事に伴い、搬入車両動線を切り替えるため大型標識を撤去しました。
約18トンの重量があり搬入に影響のない日曜日に作業を行いました。

令和６年３月撮影です。

倉庫・修理棟解体後となります。
この頃は仮囲いが道路側まで延長されています。




令和６年４月撮影です。

右側の写真は、アルミ圧縮成型及び貯留棟の解体後となります。
左側の写真は、選別棟屋根部分を内部より撮影した写真です。
屋根部分が外され骨組み部分となっています。

令和６年５月撮影です。

右側の写真は、受入貯留ヤードの鉄骨・壁解体作業中です。
左側の写真は、受入貯留ヤード屋根部分を内部より撮影した写真です。

令和６年６月撮影です。

右側の写真は、選別棟の解体工事が終わり、更地となっています。
左側の写真は、受入貯留ヤード鉄骨解体工事最後の部分です。

整備工事写真は以上となります。

**中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事**

本整備工事は、既存施設を稼働させながらの解体及び建築工事となります。
周辺環境に十分配慮し、安全に整備工事を進めてまいります。

最後となりますが、本整備工事は、既存施設を稼働させながらの解体及び建築工事となります。
ピーク時には約400名の工事関係者が従事しますので周辺環境に十分配慮し、安全に整備工事を進めてまいります。

以上で説明を終わります。
ご覧いただきありがとうございました。